

第1学年3組 学級活動學習指導案

1 題材 たのしい どくしょ

(3)ウ 主体的な學習態度の形成と学校図書館等の活用

2 目標

- 読書の楽しさや良さに気付き、自分の課題に合ったこれからの学校図書館等の活用の仕方を身に付けることができるようとする。
- 読書に対する自分の課題を見出し、解決のために様々な本を探したり、友達と話し合ったりして、取り組み方法を自己決定することができるようとする。
- 読書好きになるために、自分に合った目標を立て、がんばりカードを使って取り組もうとする意欲を育てることができるようとする。

3 計画

段階	配時	学習活動	手立て
見通す	課外	<p>1 本に親しむための準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近に読む本を①絵本・物語、②調べてつくる、③図鑑・勉強マンガの3つのジャンルから自由に選んで読む。 ○ 事前アンケートをとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つのジャンルについて児童に普段から教室掲示等で提示しておく。
行う	1 本時	<p>2 読書活動を振り返り、これからどんな本を読んでいくか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日頃の読書活動を想起させ、本時のめあてをつかむ。 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・本を読むことより楽しいことがたくさんある。 ・どんな本を借りていいか分からない。 ○ 読書のよさについてのお話を司書の先生としらさぎ号の方から聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ読書をするのか、なぜ移動図書が学校にきてくれるのか等を伺う。 ○ 聞いたことをもとに、自分の思いに合った本を探す。 <p>「3つの視点」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「好きが広がる」 ・「得意が増える」 ・「分からないが分かるようになる」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書のよさの3つの視点に気付くように、インタビュー形式で担任から司書の先生としらさぎ号(小郡市立図書館移動図書館車)の方にお話を伺う。 ○ 「好きが広がる」「得意が増える」「分からないが分かるようになる」の3つのうち、取り組みたいことを選ぶことで、読みたい本の種類を具体化させる。
振り返る	課外	<p>3 各自が書いためあてを達成できるよう、読書に親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時で決めた本を借りる。 ○ 設定した期間の読書記録をがんばりカードに書きこむ。 ○ 図書館やしらさぎ号に積極的に借りに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちが引き続き意欲的に読書に取り組めるように、がんばりカードの活用状況を把握し、継続して声かけをしていく。

4 主眼

自分の課題にあった学校図書館やしらさぎ号(小都市立図書館移動図書館車)の活用の仕方を考え、自分の思いに沿った本を選ぶとともに、進んで読書活動に取り組もうとすることができるようとする。

5 本時過程 **自己選択・自己決定の場 (つなぎタイム)**

段階	学習活動・予想される児童の反応	手立て(○)と評価(◇)	配時								
導入	<p>1 日頃の読書に関するグラフを見て、気付いたことについて話し合い、本時のめあてをつかむ。</p> <p>・絵本をたくさん的人が借りているね。</p> <p>・どんな本を借りていいのか分からなないな。</p> <p>どくしょめいじんになるために がんばることをきめよう。</p>	<p>○ 読書意欲に偏りがあることをもとに本時のめあてをつかむことができるよう に、1年3組の読書に関するグラフを提示する。(ICT)</p>	5								
展開	<p>2 読書のよさについてのお話を聞く。</p> <p>○ 司書の先生にお話を聞く。</p> <p>S1 なんで読書をするんですか。</p> <p>GT たくさんのこと学び、自分の「好きが広がる」という良さ があります。</p> <p>S2 ほかにはどんな良さがありますか。</p> <p>GT 「得意が増える」良さもあります。</p> <p>○ しらさぎ号の方からのお話を聞く。</p> <p>S1 なんで学校に図書館があるのに来てくれるんですか。</p> <p>GT 学校にいるみんなに、もっとたくさんの本を読んでもらいたい 強い思いがあるからです。</p> <p>GT 「分からないうことを知れる」良さが読書にはあります。</p> <p>3 聞いたことをもとに、3つの視点から選択し、視点に合う本を探すとともに、なぜその本にしたのか発表する。</p> <p>○ 3つの視点をもとに、自分の思いに合った項目に○をつけ、本を探す。</p>	<p>○ つなぎタイムで児童が読みたい本を探せるように、どのような本がどこにあるのか、司書の先生やしらさぎ号の方から提示してもらおうとともに、読書のよさの3つの視点を話していただき、読書への興味を引き出す。</p>	10								
	<p>【内容選択】</p> <table border="1"> <tr> <td>思い</td> <td>好きを広げたいな</td> <td>得意なことを増やしたいな</td> <td>分からないうことを知りたいな</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 同じ作者の本 同じシリーズ等 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 工作の本 料理の本 運動の本 等 </td> <td>図鑑(自動車・植物・動物)等</td> </tr> </table> <p>【個別と協働の一体的充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が読んで面白かった本を友達に教える。 友達と一緒に本を選んで、自分で読んでみる。 先生に聞いて、本と一緒に探す。 <p>○ 自分が選択した思いと、なぜその本を借りて読みたいと思ったのか発表する。</p> <p>わたしは得意を増やしたいです。だから、折り紙でいろんな動物を折れるようになりたいので、折り紙の本を選びました。</p> <p>4 今日の学習を振り返り、がんばりカードを作成する。</p> <p><自ぶんのめあて></p> <ul style="list-style-type: none"> これからはもっといろんな本をかりる。 しらさぎごうにまいかいいく。 	思い	好きを広げたいな	得意なことを増やしたいな	分からないうことを知りたいな	内容	<ul style="list-style-type: none"> 同じ作者の本 同じシリーズ等 	<ul style="list-style-type: none"> 工作の本 料理の本 運動の本 等 	図鑑(自動車・植物・動物)等	<p>○ 3つの視点から思いに沿った本を選ぶように、自分で調べたり、友達と相談しながら調べたり、司書の先生に尋ねたりできるように声かけをする。</p> <p>◇ 多くの本に触れ、読書に対する興味関心をさらに深めようとしている。</p> <p>【思・判・表】</p>	20
思い	好きを広げたいな	得意なことを増やしたいな	分からないうことを知りたいな								
内容	<ul style="list-style-type: none"> 同じ作者の本 同じシリーズ等 	<ul style="list-style-type: none"> 工作の本 料理の本 運動の本 等 	図鑑(自動車・植物・動物)等								
終末		<p>○ 本時を振り返り、今後継続して読書活動ができるよう、がんばりカードに自分のめあてを記入する。</p>	10								